様式２

番号 ＼ 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	2　東書	第１・２・３学年	保体・725	新編　新しい保健体育
取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）	○　保健分野 「心身の機能の発達と心の健康」については、異性に対して求めることをチェックしたり、ストレスに適切に対処する方法について考えたりする活動、「健康と環境」については、部屋の空気が汚れているときの状況を発表し合ったり水道普及率と水による感染症患者数の変化の理由を考えたりする活動、「傷害の防止」については、地震が起きたときの一次災害や二次災害について話し合ったり、交通事故や夜間における犯罪被害の危険を予測したりする活動、「健康な生活と疾病の予防」については、健康診断を受ける意義について話し合ったり、薬物の使用を思いとどまらせるための説得の方法を考えたりする活動を通して、目標を達成できるようになっている。 ○　体育分野 互いに楽しむために、スポーツを本やインターネットなどで調べるとともに、相手が納得できるようなルール変更を提案し合ったり、自分や友達の経験や資料をもとに、けがをしやすい部位を考えたりする活動を通して、目標を達成できるようになっている。 ○　知識･技能の習得、活用、探求への対応 保健分野において、危険を避け、安全を確保するために、それぞれの自然災害の危険を知り、事前の備えや避難の方法を考えること、体育分野において、オリンピックに参加した選手数の推移や女性の参加に関する歴史、開催都市の変化について考えることなど、学習したことを生かして知識を活用する学習活動が取り上げられている。			
内容の構成・排列、分量等	○　内容の構成・排列 保健分野において、小学校で学習した思春期の体の変化を振り返る学習の後に、ホルモンの働きや生殖機能の発達を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。 体育分野において、第1学年で学習した運動やスポーツの必要性や楽しさを踏まえ、体力向上や運動技能の維持・向上、各器官の機能の発達を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○　内容の分量 保健分野については129ページで前回より約７％増､体育分野については44ページで前回より約26%増、総ページ数は173ページで前回より約11%増となっている。			
使用上の配慮等	○　章末資料として、助産師やスポーツ選手のメッセージを掲載したり、学習を深める「読み物」や「保健体育クイズ」を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　「やってみよう」「生かそう」において学習課題を提示したり、学習のヒントなどを伝えるキャラクターを掲載したりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　巻頭でブレインストーミングやロールプレイングなどの学習方法や留意点を掲載するとともに、一単位時間の学習内容のキーワードや解説を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう判読しやすいフォントにしたりするなど、使用上の便宜が図られている。			
その他	○　北海道と関連のある教材は、口絵写真の「スポーツ雪合戦（壮瞥町）」など３箇所取り上げられている。 ○　小・中・高を通じての系統性を大切にしており、各章の扉では、小学校で学習したこと、中学校で学習すること、高校で学習することを明示している。 ○　見開き（1単位時間）の最後に「生かそう」を設け、学習したことを自分の生活に生かすことができるような工夫がなされている。			